

あま市地域防災計画

—様式編—

素案

(令和 7 年 2 月修正)

目次

様式第1号	被害調査表	1
様式第2号	被災状況調査票（兼台帳）	2
様式第3号	災害情報	4
様式第4号	災害概況即報	5
様式第5号	災害発生直後の状況	6
様式第6号	災害発生状況等（速報・確定報告）	7
様式第7号	人的被害	8
様式第8号	避難状況・救護所開設状況	9
様式第9号	公共施設被害	10
様式第10号	罹災証明申請書	11
様式第11号	罹災（届出）証明書交付申請書	13
様式第12号	罹災証明書	14
様式第13号	罹災届出証明書	15
様式第14号	罹災証明書に係る被害認定再調査申請書	16
様式第15号	救助実施記録日計票	17
様式第16号	救助日報	18
様式第17号	物資受払簿	20
様式第18号	避難所収容台帳	21
様式第19号	避難所設置及び収容状況	22
様式第20号	救助の種目別物資受払簿	23
様式第21号	被災者救出状況記録簿	24
様式第22号	炊出し給与状況	25
様式第23号	炊出し用物品借用簿	26
様式第24号	飲料水の供給簿	27
様式第25号	物資購入（配分）計画表	28
様式第26号	物資の給与状況	29
様式第27号	物資給与及び受領簿	30
様式第28号	医療救護班活動状況	31
様式第29号	病院・診療所医療実施状況	32
様式第30号	助産台帳	33
様式第31号	遺体搜索状況記録簿	34
様式第32号	遺体処理台帳	35
様式第33号	埋火葬台帳	36
様式第34号	応急仮設住宅入居申込書	37
様式第35号	応急仮設住宅台帳	39
様式第36号	応急仮設住宅入居予定者名簿	40
様式第37号	応急仮設住宅入居者選定調書	41

様式第 3 8 号	応急仮設住宅入居決定通知書	42
様式第 3 9 号	応急仮設住宅入居誓約書.....	43
様式第 4 0 号	住宅応急修理申込書	44
様式第 4 1 号	住宅応急修理申込者名簿.....	45
様式第 4 2 号	住宅応急修理対象者選定調書	46
様式第 4 3 号	住宅応急修理決定通知書.....	47
様式第 4 4 号	住宅応急修理記録簿	48
様式第 4 5 号	学用品購入（配分）計画表	49
様式第 4 6 号	学用品の給与状況.....	50
様式第 4 7 号	障害物除去の状況記録簿.....	51
様式第 4 8 号	輸送記録簿	52
様式第 4 9 号	緊急輸送車両確認届出書.....	53
様式第 5 0 号	緊急輸送車両確認証明書.....	54
様式第 5 1 号	緊急通行車両確認申出書.....	55
様式第 5 2 号	緊急通行車両確認証明書.....	56
様式第 5 3 号	標章	57
様式第 5 4 号	部隊等の派遣要請依頼書.....	58
様式第 5 5 号	災害派遣部隊撤収要請依頼書	59
様式第 5 6 号	賃金職員等雇上げ台帳	60
様式第 5 7 号	避難・地震防災応急対策の実施状況報告 速報用	61
様式第 5 8 号	避難・地震防災応急対策の実施状況報告	62

様式第 1 号 被害調査表

被 害 調 査 表

年 月 日
自主防災会（区）長

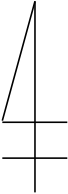
住 所	氏 名	電 話	人 の 被 害 (人)				住 家 被 害					非 住 家 全半壊被害のもののみ		備考
			死者	行方不明	重傷者 1ヶ月以上	軽傷者 1ヶ月未満	全壊 延べ面積 70%以上	半壊 20%以上 70%未満	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物 公民館等	そ の 他 倉庫車庫等	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	
							棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟 世帯 人	棟	棟	

※該当する箇所にご記入ください。

被災状況調査表（兼台帳）

被害発生原因				被災年月日		年 月 日		行政区		罹災証明番号									
								住所氏名		あま市									
								被害家屋所在地		あま市									
※被災者調査表										応急救助の状況（台帳）									
	氏名	満年齢	続柄	性別	職業(学年)	死亡、負傷、行方不明の別被災場所		備考	避難所	炊出し等	医療	助産	学用品	埋葬	遺体処理	救出			
1			主	男 女															
2				男 女															
3				男 女															
4				男 女															
5				男 女															
6				男 女															
7				男 女															
8				男 女															
被災家屋調査表					※調査員意見				備考	本欄に記入した人は文表にサインすること。		応急仮設住宅							
住家	全壊	m ²	1 自家	1 自地	避難収容所	要 否	日間	名		住宅の応急処置									
	半壊、焼	m ²	2 借家	2 借地	炊 出	要 否	日間	名		生業資金									
	流失	m ²	3 間借		生業資金貸付	要 否				寝具・被服		1	2	3	4	5	6	7	
	浸水	床上	cm	日数	日	応急仮設住宅	要 否				日用品		1	2	3	4	5	6	7
		床下	m ²		住 宅 の 応 急 処 理	要 否				義援金		1	2	3	4	5	6	7	
		便所のみ			課 税 状 況	非課税、均等割、所得割		義援物資		1	2	3	4	5	6	7			
	非住家	全壊	m ²	用途別	機械器具等被害	家 計	滅 失、流 失、焼 失				調査協力員		印	調査担当員		課		印	
半壊、焼		m ²	工 場	有 無	そ の 他							1	2	3	4	5	6	7	
流失		m ²	店 舗	有 無								1	2	3	4	5	6	7	
浸水		日数	倉 庫	有 無	年 日 日		午前 午後	時調査	調査協力員		印	調査担当員		課		印			
			そ の 他 ()	有 無	再 年 日 日		午前 午後	時調査	調査協力員		印	調査担当員		課		印			

(裏)

家屋所在地見取図	構造	延床面積	自借地の別	自借家の別	被害の程度
		m ²	自・借	自・借	全・半・部
N ・ 借家の場合は、所在者の住所、氏名も記入 					
		備考			

様式第3号 災害情報

第 号

災 害 情 報

部長	班長	班	
災 害 の 原 因			
災害の発生年月日	年	月	日 時
災 害 の 発 生 場 所	あま市	番地	
報 告 の 期 限	日	時現在	受 信 時 刻 時 分
発 信 担 当 者		受 信 担 当 者	
内 容			

様式第 4 号 災害概況即報

[災害概況即報]

消防庁受信者氏名

報 告 日 時	
都 道 府 県	
市 町 村 (消防本部名)	
報 告 者 名	

災害名 (第 報)

災 害 の 概 況	発生場所		発生日時	年	月	日	時	分		
被 害 の 状 況	人的 被害	死者	人	重傷	人	住家	全壊	棟	床上浸水	棟
							半壊	棟	床下浸水	棟
		不明	人	軽傷	人		一部破損	棟	未分類	棟
	1 1 9 番通報の件数									
応 急 対 策 の 概 況	災害対策本部等の 設 置 状 況		(都道府県)				(市町村)			
	消 防 機 関 等 の 活 動 状 況		(地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第 39 条に 基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等をわかる範囲 で記入すること。)							
	自 衛 隊 派 遣 要 請 の 状 況									
	その他都道府県又は市町村が講じた応急対策									

(注) 第 1 報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く（原則として、覚知後 30 分以内）分かる範囲で記載して報告すること。（確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨（「未確認」等）を記入して報告すれば足りること。）

(注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

様式第5号 災害発生直後の状況

災害発生直後の状況

原 因						発 生 日 時					
発 生 場 所			あま市								
受 発 信 時 刻			月 日 時 分								
発 信 機 関						発 信 者					
受 信 機 関						受 信 者					
区 分			被 害		区 分		被 害		被害程度及び応急対策状況(経過)		
人的被害	死 者		人		その他	鉄道不通	か所				
	行方不明者		人			水 道	戸				
	負傷者	重 傷 者	人			電 話	回線				
		軽 傷 者	人			電 気	戸				
住家被害	全 壊		棟		他	ガ ス	戸				
			世帯			災 害 対 策 本	設置				
			人			部 設 置 状 況	廃止				
	半 壊		棟			避 難 の 勧 告	地区				
			世帯			指 示 等 の 状 況	人				
			人			要 請 事 項					
	一 部 破 損		棟								
			世帯								
			人								
	床 上 浸 水		棟								
			世帯								
			人								
	床 下 浸 水		棟								
			世帯								
			人								
	その他の	道 路	損 壊	か所							
冠 水			か所								
(通行不能)			か所								
橋 り よ う		か所									
河 川		破 堤	か所								
		越 水	か所								
		そ の 他 法面崩壊等	か所								
砂 防		か所									
崖 く ず れ		か所									
地 す べ り		か所									
土 石 流		か所									

様式第6号 災害発生状況等（速報・確定報告）

年 月 日 時 分 現在

災害発生状況等（速報・確定報告）

原 因					発 生 日 時		年 月 日 時 分				
発 信 場 所											
発 信 機 関					発 信 者						
受 信 機 関					受 信 者						
区 分			被 害	区 分		被 害	区 分				
人 的 被 害	死 者	1 人		橋 り ょ う	31 か所		そ の 他	水 産 被 害	61 千円		
	行方不明者	2 人			河 破 堤	32 か所			商 工 被 害	62 千円	
	負傷者	重 傷	3 人			川 越 水		33 か所		そ の 他	63 千円
		軽 傷	4 人			そ の 他		34 か所		被 害 総 額	64 千円
住 家 被 害	全 壊	5 棟		そ の 他	港 湾 ・ 漁 港	35 か所		災 害 対 策 本 部	65 設置		
		6 世帯			砂 防	36 か所		設 置 状 況	66 廃止		
		7 人			清 掃 施 設	37 か所		避 難 の 勧 告 ・ 指 示 等 の 状 況	67 地区		
	半 壊	8 棟			崖 く ず れ	38 か所			68 世帯		
		9 世帯			地 す べ り	39 か所			69 人		
		10 人			土 石 流	40 か所		消 防 職 員 出 動 延 人 数	70 人		
	一 部 破 損	11 棟			鉄 道 不 通	41 か所		消 防 団 員 出 動 延 人 数	71 人		
		12 世帯			被 害 船 舶	42 隻		避 難 所 数	72 所		
		13 人			水 道	43 戸		避 難 人 数	73 人		
	床 上 浸 水	14 棟			電 話	44 回線		避 難 人 数 (うち自主避難)	74 人		
		15 世帯			電 気	45 戸		避 難 世 帯 数	75 世帯		
		16 人			ガ ス	46 戸		避 難 世 帯 数 (うち自主避難)	76 世帯		
	床 下 浸 水	17 棟			ブ ロ ッ ク 塀 等	47 か所		被害程度及び応急対策状況（経過）			
		18 世帯			り 災 世 帯 数	48 世帯					
		19 人			り 災 者 数	49 人					
	非 住 家	公 共 建 物	20 棟			火 災 発 生	建 物	50 件		要 請 事 項	
		そ の 他	21 棟				危 険 物	51 件			
	そ の 他	田	流 失 ・ 埋 没		22 ha			そ の 他	52 件		
			冠 水		23 ha		公 立 文 教 施 設	53 千円			
畑		流 失 ・ 埋 没	24 ha		農 林 水 産 施 設	54 千円					
	冠 水	25 ha		公 共 土 木 施 設	55 千円						
文 教 施 設	文 教 施 設	26 か所		そ の 他 の 公 共 施 設	56 千円						
	病 院	27 か所		小 計	57 千円						
	道 路	損 壊	28 か所		そ の 他	農 業 被 害	58 千円				
		冠 水	29 か所		林 業 被 害	59 千円					
		(うち通行不能)	30 か所		畜 産 被 害	60 千円					

（注）速報の場合は53から64までの項目については報告する必要はない。

様式第7号 人的被害

人 的 被 害 (第 報)

報告の時刻	日 時 分現在	受信時刻	時 分
発信機関		受信機関	
発信者名		受信者名	
内 容			
発生	日 時	日 時 分	
	場 所		
	原 因		
人的被害の状況	被害程度	1 死亡 2 行方不明 3 重傷 4 軽傷	
	氏 名 等	(氏名) (生年月日) (性別)	
	住 所		
	収 容 先		
	その他参考事項 (応急処置、情報源、確認・未確認の別、世帯主及び続柄等)		

様式第8号 避難状況・救護所開設状況

避難状況・救護所開設状況 (第 報)

報告の時点		日時分現在		受信時刻		時分					
発信機関				受信機関							
発信者名				受信者名							
内 容											
避難状況	避難先	地区名	避難指示、自主避難の種別及び日時	避難指示世帯数	避難指示人数	避難実世帯数	避難実人数	屋内屋外の別	今後の見通し	最大世帯数	最大人数
			(自主) (指示) 日時分	世帯	人	世帯	人	屋内 屋外		世帯	人
			(自主) (指示) 日時分					屋内 屋外			
			(自主) (指示) 日時分					屋内 屋外			
			(自主) (指示) 日時分					屋内 屋外			
			(自主) (指示) 日時分					屋内 屋外			
			(自主) (指示) 日時分					屋内 屋外			
			(自主) (指示) 日時分					屋内 屋外			
救護所開設状況	救護所名	設置場所	患者数		実施機関		収容人数の最大値				
			受入	搬送			重傷	軽傷			

※最大世帯数及び最大人数については、避難先毎の最大数を記入すること。

(第 報)

— 10 —

様式第 10 号 罹災証明申請書

証明番号	証第	—	号
------	----	---	---

罹 災 証 明 申 請 書

年 月 日

あま市長 様

[申請者]	住 所	
	氏 名	印
	電 話	— —
[代理人]	現在の連絡先	
	住 所	
	電 話	— —
[代理人]	住 所	
	氏 名	印
	電 話	— —
申請者との関係		

罹 災 場 所	あま市 (アパート等の場合、名称)		
罹 災 住 家 等	☐ 住 家 (☐ 持家 / ☐ 借家) ☐ 非住家		
申請者との罹災 住家等の関係	☐ 所有者 ☐ 管理者 ☐ 占有者 ☐ 借家人 ☐ その他 ()		
罹 災 日 時 及 び 罹 災 理 由	年 月 日 () 時 分頃 理由 : による		
被 害 の 程 度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 (焼) ☐ 一部損壊 ☐ 流出 ☐ 床上浸水 ☐ 床下浸水 ☐ その他 ()		
摘 要			
証明必要数及び 必 要 理 由 等	通	(理由、提出先等)	
備 考	・この証明は、民事上の利権義務関係に効力を有するものではありません。 ・記入上の留意点は、裏面を参照してください。 ・建物が被災された方で、現在の連絡先が変更となった場合は税務課固定資産税 係へご連絡ください。		

罹 災 証 明 書

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

愛知県あま市長

印

様式第10号 罹災証明申請書（裏面）

記入上の留意点

- 1 申請者は、申請時に本人であることが確認できるもの（運転免許証等）を提示し、〔申請者〕欄に住所・氏名（法人の場合は代表者の職・氏名）・電話番号、連絡先が異なる場合は現在の連絡先を記入してください。

代理人の場合は、委任状を提出し、上記〔申請者〕欄及び〔代理人〕欄に住所・氏名（法人の場合は代表者の職・氏名）・連絡先・申請者との関係を記入してください。

ただし、代理人が住家等の関係者の配偶者、同居親族若しくは血族二親等以内の親族又は、住家等の勤務者である場合には、委任状は不要です。

- 2 「罹災場所」欄には、被害のあった建物も住所（アパートなどの建物名称等も含む）を記入してください。
- 3 「罹災住家等」欄には、住家（現に人が住んでいる家、アパート等）及び非住家（人がすんでいない物置、車庫等）の該当する項目に $\blacktriangledown$ 点を記入してください。
- 4 「申請者と罹災住家等の関係は」欄には、申請者が住家等の所有者、管理者、占有者、借家人、その他のどれかに当たるか、該当する項目に $\blacktriangledown$ 点を記入してください。
- 5 「罹災日時及び罹災理由」欄には、罹災したと思われる日時を記入し、その下段の理由欄には、次の例示のように記入してください。

例1 理由： 「〇〇年〇〇月〇〇日に発生した地震」による

例2 理由： 「〇〇年〇〇月〇〇日に台風〇〇号の豪雨」による

- 6 「被害の程度」欄には、住家の被害程度を全壊、大規模半壊、半壊（焼）、一部損壊、流失、床上浸水、床下浸水、その他のどれに当たるか、該当する項目に $\blacktriangledown$ 点を記入してください。

なお、その他の場合は、その内容を詳しく記載してください。

- 7 「摘要」欄には、被災した内容をできる限り具体的に記入してください。

例1：「地震により〇〇㎡の住宅の1階部分がつぶれて使用不能になった。」

例2：「大雨による増水であま市〇〇〇〇丁目一体が浸水し、床上浸水した。」

- 8 「証明必要数及び必要理由等」欄には、罹災証書の必要数（通）数を記入した上、必要とする理由及び罹災（届出）証明書の提出先名称等を記入してください。

様式第 1 1 号 罹災（届出）証明書交付申請書

年 月 日

あま市長 様

申 請 者	住 所	
	フリガナ	
	氏 名	
	電話番号	() -

罹災（届出）証明書交付申請書

罹災（届出）証明書の交付を申請します。

罹 災 者 (所 有 者)	☐ 申請者と同じ ☐ 申請者と異なる	
	住所	
	氏名	
罹災物件の所在地	あま市	
罹 災 物 件	☐ 住家 ☐ 非住家 ☐ その他 ()	
罹 災 年 月 日	年 月 日	
罹 災 原 因	☐ 地震 ☐ 台風 ☐ 集中豪雨（雷雨等） ☐ 竜巻 ☐ その他 ()	
罹 災 内 容 (詳細に記載すること。)		
証明書の使用目的		
申 請 枚 数		
同 意 欄	罹災（届出）証明書の交付申請の審査のため、住民票及び住家等の所有者について、市が公簿等により確認することについて同意します。 氏名 _____	

※罹災状況が確認できる写真を添付すること。

※次の欄は、記入しないでください。

現地調査日程	年 月 日 () 時 分頃	受付番号	
--------	--------------------------	------	--

様式第 1 2 号 罹災証明書

罹 災 証 明 書

住 所	
氏 名 (罹災者)	

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

罹災物件の 所在地	
住家等の 被害の程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☐ 準半壊に至らない（一部損壊）

備考	
----	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

あま市長



様式第 13 号 罹災届出証明書

罹 災 届 出 証 明 書

住 所	
氏 名 (罹災者)	

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

罹災物件の 所在地	
住家等及び 動産の 被害の程度	

備考	
----	--

上記のとおり、罹災の届出があったことを証明します。

年 月 日

あま市長



様式第 1 4 号 罹災証明書に係る被害認定再調査申請書

年 月 日

あま市長 様

※罹災証明書の交付を受けた方

申 請 者	住 所	
	フリガナ	
	氏 名	
	電話番号	() —

罹災証明書に係る被害認定再調査申請書

罹災証明書に係る被害の程度について、再調査を申請します。

罹災物件の所在地	
罹災物件	☐ 住家 ☐ 非住家 ☐ その他 ()
交付を受けた 罹災証明書の被害の程度	☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 中規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 準半壊 ☐ 準半壊に至らない (一部損壊)
再調査を申請する理由	

※交付を受けた罹災証明書を添付すること。

様式第 1 5 号 救助実施記録日計票

救助実施記録日計票

救助の 種類	避難	仮住	炊出	給水
	被	医	救出	修理
	資	学用	遺捜	遺処
	障害			

あ ま 市

責 任 者 氏 名

地区責任者氏名

No. (月 日 時 分現在)

員 数 (世 帯)	
品 目 (数 量 ・ 金 額)	
受 入 先	
払 出 先	
場 所	
方 法	
記 事	

(記入要領)

- 各救助の種類ごとに一葉作成する。
- 記録票欄外のナンバー欄には、記録票ごとに一連番号を付するものとし、報告内容を訂正する場合、例えばNo.10の次にNo.5の分を訂正する場合には、「No.11 (No.5 訂正)」のように記載のうえ、No.5の記録票には朱で×印を付し、「(No.11に訂正済)」とし、破棄することなくそのままナンバー順に綴ってこくこと。
- 記録票欄外の救助の種類別欄は、災害救助法第4条第1項の救助の種類を記入する。
- 機械・器具等無償で借上げた場合についても記録票を作成する。
- 災害救助基金より放出した場合についても同様とする。
- 被服寝具その他生活必需品の給与等で、県調達分と市町村調達分があるときは、それぞれ別に記録票を作成する。

様式第16号 救助日報

救 助 日 報

報 告 機 関				受 信 機 関			
送 信 者				受 信 者			
報 告 時 限		月 日 時 分現在		受 信 時 刻		月 日 時 分	
避難所開設	開設時間	開設日時	月 日 時	被服寝具生活必需品	県より受入又は		点
		閉鎖予定日	月 日		前日よりの繰越量		
	既存建物	箇所数	カ所		本日支給	減失世帯数	世帯
		収容人員	人				点
	野外仮設	箇所数	カ所			半壊、床上浸水世帯数	世帯
		収容人員	人				点
炊出し	炊出期間	開始年月	月 日	翌日への繰越量		点	
		終了予定日	月 日				
	炊出箇所数		カ所	医療班	医療班出動数		班
	炊出人員	朝食	人		救助地区		
		昼食	人		診療者	医療	人
		夕食	人			助産	人
		その他	人		医療機関	医療	施設数
	計	人	診療人員			人	
	給水	供給地区数		地区	助産	施設数	施設
		供給実人員		人		診療人員	人
供給水量		ℓ	救助終了予定年月日		月 日		
給水期間		開始年月	月 日	被災者救出	救出地区		
		終了予定日	月 日		救出した人員		人
給水方法			今後救出を要する人員		人		
			救出終了予定年月日		月 日		
			救出の方法				

学用品支給	県より受入又は				死亡原因別人員	直接		人	
	前日よりの繰越量					その他		人	
	本日支給	小学生				遺体洗浄			体
						遺体縫合			体
		中学生				遺体消毒			体
			保存	既存建物利用		ヵ所			
翌日への繰越量				仮設建物		ヵ所			
埋葬	前日までの埋葬				遺体の処理	遺体処理機関			
	本日埋葬	大人				今後遺体処理を要する遺体		体	
		小人				遺体処理終了日		月 日	
		計				障害物除去			
	埋葬終了予定日		月 日			除去する戸数		戸	
遺体の搜索	搜索地区				輸送	本日除去戸数		戸	
	遺体	搜索を要する遺体				今後予定戸数		戸	
		本日発見遺体				終了予定日		月 日	
		今後の要搜索遺体				公用車使用		台	
	搜索方法					借上車使用		台	
	搜索終了予定日		月 日			救助の種類			
	仮設住宅	着工日				賃金職員	賃金職員雇上数		人
月 日			従事作業の内容						
竣工日				備考					
		月 日							
住宅修理	着工日								
		月 日							
竣工日									
	月 日								

様式第 17 号 物資受払簿

物 資 受 払 簿

あ ま 市

品名			単位呼称			
年 月 日	適 用		受	払	残	備 考

- 注 1 「摘要」欄に購入先又は受入先及び払出先を記入すること。
- 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
- 3 最終行欄に県からの受入分及び市調達分別に、受、払、残の合計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

様式第 1 8 号 避難所収容台帳

避 難 所 収 容 台 帳

あま市

避難所

責任者 認印	月 日	収容人員	物 品 使 用 状 況		記 事	備 考
			品 名	数 量		

- 注 1 「収容人員」欄は、当日の最高収容人員数を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」欄に記入しておくこと。
- 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
- 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

様式第 19号 避難所設置及び収容状況

避難所設置及び収容状況

あま市

[illegible]

- 注 1 「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
- 2 「物品の使用状況」欄は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
- 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。
- 4 福祉避難所の場合には、避難所の名称欄の名称を○で囲むこと。
福祉避難所として使用した実費については、「備考」欄に記入すること。

様式第 2 0 号 救助の種目別物資受払簿

救 助 の 種 目 別 物 資 受 払 簿

あま市

救助の種類別	年月日	品 名	単位 呼称	摘 要	受	払	残	備考

- 注 1 「摘要」欄に購入又は受入先及び払出先を記入すること。
- 2 「備考」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。
- 3 各救助の種目別最終行に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。
 なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合には、それぞれの別に受、払、残の計及び金額を明らかにしておくこと。
- 4 救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。
 なお、「備考」欄に払高数量(使用数量)に対する金額を記入すること。
- 5 救助の種類別の品目が多い場合、救助の種類別ごとに一葉作成すること。

様式第21号 被災者救出状況記録簿

被 災 者 救 出 状 況 記 録 簿

あま市

[illegible]

- 注 1 他市町村に及んだ場合には、「備考」欄にその市町村名を記入すること。
2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上額を「金額」欄に記入すること。
3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。

様式第 2 2 号 炊出し給与状況

炊 出 し 給 与 状 況

あ ま 市

炊出し場の 名称	月 日			月 日			月 日			月 日			月 日			月 日			合 計	実支出額	備 考	
	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕				

注 「備考」欄は、給食内容を記入すること。

様式第 2 3 号 炊出し用物品借用簿

炊 出 し 用 物 品 借 用 簿

あ ま 市

品 名	数量	期 間	金 額（円）	所有者（管理者）の氏名	使用避難場所の名称	備 考

注 「期間」欄は、「〇月〇日から〇月〇日までの〇日間」と記入すること。

様式第 24 号 飲料水の供給簿

飲料水の供給簿

あま市

[illegible]

注 1 給水用機械器具は借上費の有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合にのみ「金額」欄に額を記入すること。

2 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。

様式第25号 物資購入（配分）計画表

物 資 購 入 (配 分) 計 画 表

あま市

[illegible]

- 注 1 本表は、全壊（全焼、流出）、半壊（半焼）、床上浸水世帯分に分けて作成すること。
- 2 「品名」欄は、寝具、被服、生活必需品の順に記入すること。
- 3 各品目ごとの「備考」欄に、県調達分と市調達分を明らかにしておくこと。

様式第 26 号 物資の給与状況

物資の給与状況

あま市

住家被害 程度区分		世帯主 氏 名		基礎とな った世帯 構成人員	給与月日	物資給与の品名						実支出額	備考
						布団	毛布						
計	全壊		世帯										
	半壊		世帯										

災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者氏名

印

- 注 1 「住家の被害程度区分」欄に、全壊（焼）流失、半壊（焼）又は床上浸水の別を記入すること。
- 2 「給与月日」の欄に、その世帯に対して最後に給与された物資の給与月日を記入すること。
- 3 「物資給与の品目」欄に、数量を記入すること。

物 資 給 与 及 び 受 領 簿

あ ま 市

印

— 30 —

様式第28号 医療救護班活動状況

医 療 救 護 班 活 動 状 況

医療救護班

班長：医師氏名

印

月日	活動地区	患者数 人	措置の概要	遺体検案数 人	修繕費 円	備考
計						

注 「備考」欄に班編成、活動期間を記入すること。

様式第 2 9 号 病院・診療所医療実施状況

病 院 ・ 診 療 所 医 療 実 施 状 況

あ ま 市

診療機関名	患者氏名	診療期間	病名	診療区分		診療報酬点数		金額	備考
				入院	通院	入院	通院		
						点	点	円	
計 機関	人								

注 「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

様式第30号 助産台帳

助 産 台 帳

あま市

分べん者氏名	分べん日時	助産機関名	分べん期間 月 日～ 月 日	金額 円	備考
計					

様式第31号 遺体搜索状況記録簿

遺 体 搜 索 状 況 記 録 簿

あ ま 市

[illegible]

- 注 1 他市町村に及んだ場合には、「備考」欄にその市町村名を記入すること。
2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上額を「金額」欄に記入すること。
3 「修繕の概要」欄には、修繕の原因及び主な修繕箇所を記入すること。

様式第32号 遺体処理台帳

遺 体 処 理 台 帳

あ ま 市

処 理 年 月 日	遺 体 発 見 の 日 時 及 び 場 所	死 亡 者 氏 名	遺 族		洗 浄 等 の 処 理			遺 体 の 一 料 時 保 存 料	検 案 料	実 支 給 額	備 考
			氏 名	死 亡 者 との 関 係	品 名	数 量	金 額				
							円	円	円	円	

様式第33号 埋火葬台帳

埋 火 葬 台 帳

あま市

死 年 月 日	亡 年 月 日	葬 日	死 亡 者		埋 葬 を 行 っ た 者		埋 葬 費				備 考
			氏 名	年 齢	死 亡 者 と 係 連 の 氏 名	棺 (付 属 品 を 含 む)	埋 葬 又 は 火 葬 料	骨 箱	計		
計			人								

- 注 1 埋葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
- 2 市長等が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
- 3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨および金額を「備考」欄に記入すること。

様式第34号 応急仮設住宅入居申込書

応急仮設住宅入居申込書

年 月 日

あま市長 様

申 込 者	被災前住所	
	氏 名	
	現在の住所 (避難先)	〒
	連絡先 電話番号	(携 帯) (勤務先)

下記の状況で居住する家がないので、応急仮設住宅の入居を申し込みます。

なお、この度の応急仮設住宅申込みにあたり、私の世帯の住民基本台帳及び課税台帳等の個人情報について、確認することに同意します。

記

被 害 の 程 度		1 全壊・流出	2 大規模半壊	3 半壊	4 一部損壊
被災住宅の所有状況		1 自 家	2 借 家	3 その他 ()	
同 居 予 定 の 家 族 構 成	続 柄	氏 名	生年月日 (年齢)	職業・勤務先 (在学校及び学 年)	備 考 (要介護度、障がい 名、障がい等級、病名 等)
	世帯主		T・S・H・R . . (歳)		
			T・S・H・R . . (歳)		
			T・S・H・R . . (歳)		
			T・S・H・R . . (歳)		
			T・S・H・R . . (歳)		
入居人数		人	入居希望住宅		仮設住宅
優先世帯の構成		☐ 妊産婦・3歳未満の乳幼児のいる世帯 ☐ 3歳以上18歳以下の子がいる世帯 ☐ 高齢者のみ世帯 ☐ 要支援・要介護者のいる世帯 ☐ 障がい者のいる世帯 ☐ 病弱者のいる世界 ☐ 失業者世帯 ☐ 生活保護世帯			
車椅子の使用 (有 ・ 無) 駐車場の利用 (有 (1台) ・ 無) ペットの有無 (屋内 ・ 屋外 ・ 無) ペットの種類及び頭数 (/ 頭)					

(添付書類)

罹災証明書 (写し可)

様式第35号 応急仮設住宅台帳

応 急 仮 設 住 宅 台 帳

あ ま 市

応急仮 設住宅 番 号	世帯主氏名	家 族 数	所 在 地	構 造 区 分	面 積	敷 地 区 分	着 工 月 日	竣 工 月 日	入 居 月 日	実支給額	備 考

- 注 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
- 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
- 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
- 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
- 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別をも明らかにしておくこと。

様式第36号 応急仮設住宅入居予定者名簿

応 急 仮 設 住 宅 入 居 予 定 者 名 簿

あ ま 市

番号	被災者 台帳 番号	世帯主名	世帯 人員	職業	被 災 世 帯 内 訳										市町村民税			備考
					65 歳 以 上 の 方 の 世 帯	65 歳 以 上 の 方 と 18 歳 未 満 の 方 の 世 帯	障 が い 者 の 方 の 世 帯	3 歳 未 満 乳 幼 児 扶 養 子 の 世 帯	特 定 疾 患 に より 早 急 に 住 居 の 安 定 を 図 る 必 要 が あ る 世 帯	65 歳 以 上 の 方 の 世 帯	3 歳 か ら 18 歳 ま で の 方 を 扶 養 す る 世 帯	3 歳 未 満 乳 幼 児 の 世 帯	妊 婦 の 世 帯	生 活 保 護 給 付 受 給 者 世 帯	非 課 税	均 等 割	所 得 税	

様式第 37 号 応急仮設住宅入居者選定調書

応急仮設住宅入居者選定調書

あ ま 市

住所		氏名	
調 査 員 調 査 事 項	資産状況 動産	職 業	
	不動産		
	被災の概要	家庭の概要	
民生委員の意見			
調査員総合意見			
要施行	有 無	調査員	㊟

許可の可否	入居される住宅	世帯人数	その他の特記事項

却下の理由

様式第 38 号 応急仮設住宅入居決定通知書

応急仮設住宅入居決定通知書

年 月 日

様

あま市長

年 月 日付で届出のありました応急仮設住宅入居については、下記のとおり承認（却下）しましたので通知します。

記

（承認の場合）

1 応急仮設住宅入居地

2 条件

- (1) 許可決定通知の受領者は、直ちに誓約書を提出してください。
- (2) 応急仮設住宅入居の期日は、入居の日から2年以内であること。従って、その間に他に住居を移すように努力すること。
- (3) この住宅は、他の者に絶対貸さないこと。
- (4) この住宅を返還するときは、入居の時と同じ状態にしておくこと。

（却下の場合）

1 却下の理由

様式第 39 号 応急仮設住宅入居誓約書

応急仮設住宅入居誓約書

- 1 住宅を他人に貸与、または譲渡し、あるいは目的外に使用いたしません。
- 2 許可なく住宅を改善したり、増築いたしません。
- 3 善意をもって建物および付属物件を管理し、滅失または、き損いたしません。
- 4 近隣に迷惑をおよぼすような行為はいたしません。
- 5 家族以外のものを同居いたしません。
- 6 建物の修繕維持に要する費用、電気料、水道料、汚物塵あい等の処理に要する費用、排水その他敷地の整備に要する費用等は、すべて私が負担いたします。
- 7 入居後は、なるべく早く他に適当に住宅を確保し、遅くとも 年 月 日までに退去するよう努めます。

上記のとおり誓約し、応急仮設住宅に入居いたします。

年 月 日

あま市長様

入居者

㊞

保証人

㊞

様式第40号 住宅応急修理申込書

住 宅 応 急 修 理 申 込 書

年 月 日

あま市長 様

申 込 者	被害を受けた 住宅の所在地	〒
	現在の住所 (避難先)	〒
	氏 名	
	生 年 月 日 (年 齢)	大正・昭和・平成 年 月 日 (歳)
	連 絡 先 電 話 番 号	(携 帯) (勤務先)

住宅の応急修理を実施されたく申込みます。

なお、住宅の応急修理の申込みに関して、世帯員の収入、世帯構成を市の担当者が調査・確認することに同意します。

記

住宅の被害の程度	☐ 全壊・流出 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊				
被害を受けた住宅の 部位	☐ 屋根 ☐ 柱 ☐ 床 ☐ 外壁 ☐ 基礎 ☐ 梁 ☐ ドア ☐ 窓 ☐ サッシ ☐ 上下水道の配管 ☐ ガスの配管 ☐ 給排気設備の配管 ☐ 電気・電話線・テレビ線の配線 ☐ トイレ ☐ 浴室				
世 帯 の 状 況	氏 名	続柄	職業	要配慮者欄※	前年総所得金額
〔 世帯に属する者 〕 人		世帯主			円
					円
					円
					円
※右欄は世帯主及び 世帯に属する者で、所 得のある者について のみ記入					円
					円
					円
	世帯の前年の収入額の合計※				円

注1 要配慮者世帯で申請する場合には、以下の要件に該当する番号を上記の「要配慮者欄」に記入してください。

- ①心神喪失・重度知的障害 ②1級の精神障害者 ③1級又は2級の身体障害者 ④1級の障害基礎年金受給者 ⑤1級の特別児童扶養手当受給者 ⑥特別項症から第3項症の戦傷病者手帳保持者 ⑦厚生労働大臣の認定を受けた原子被爆者 ⑧特級、1級又は2級の公害健康被害者 ⑨常に就床を必要とし、複雑な介護を要する者 ⑩①又は③に準ずる65歳以上の者 ⑪治療方法未確立の特殊な疾病等で国の医療費等費用負担を受けている者 ⑫配偶者と死別、又は婚姻を解消した者で現に婚姻していない者等で、現に子供を扶養している者 ⑬父母のいない児童 ⑭生活保護の要保護者

注2 「世帯の前年の収入額の合計」欄は、記入しないでください。

【添付書類】

罹災証明書、応急修理見積書、被害家屋の位置図

様式第41号 住宅応急修理申込者名簿

住宅応急修理申込者名簿

あ ま 市

[illegible]

様式第 4 2 号 住宅応急修理対象者選定調書

住 宅 応 急 修 理 対 象 者 選 定 調 書

あ ま 市

住 所		氏 名	
調 査 員 調 査 事 項	資産状況 動 産	職 業	
	不動産		
	被災の概要	家庭の概要	
民生委員の意見			
調査員総合意見			
要 施 行	有	無	調査員

許可の可否	工事期間	工事費	施 工 者	
			氏 名	住 所
可 否	年 月 日 年 月 日	円		

却下の理由

様式第 4 3 号 住宅応急修理決定通知書

住宅応急修理決定通知書

年 月 日

様

あま市長

年 月 日付で申込みのありました住宅応急修理については、
下記のとおり承認（却下）しましたので通知します。

記

（承認の場合）

1 決定額

2 工事者には、次の条件で工事を行わせてください。

月 日までに工事を完了のこと。

（却下の場合）

1 却下の理由

様式第44号 住宅応急修理記録簿

住宅応急修理記録簿

あま市

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支給額	適 要
		月 日	円	
計 世帯				

様式第45号 学用品購入（配分）計画表

学用品購入（配分）計画表

あま市

[illegible]

注 1 本表は、学用品のうち、文具類及び通学用品のみとし、教科書（教材を含む。）については、別途作成するものであること。

2 県調達分があるときは、その旨を「備考」欄に明らかにしておくこと。

様式第 4 6 号 学用品の給与状況

学 用 品 の 給 与 状 況

あ ま 市

学校名		学年	児童（生徒）氏名	給与月日	給与品の内訳								実支出額	備考	
					教科書					その他学用品					
					国語	算数					鉛筆	ノート			
				月 日										円	
計	小学校		人											円	
	中学校		人											円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違ありません。
年 月 日

給与責任者（学校長）
氏 名

印

- 注 1 「給与月日」欄は、その児童（生徒）に対して最後に給与した給与月日を記入すること。
2 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること。

様式第47号 障害物除去の状況記録簿

障害物除去の状況記録簿

あま市

住家被害 程度区分		氏名	除去に要した期間 月 日 ～ 月 日	実支出額 円	除去を要する 状態の概要	備 考
計	半壊(焼)	世帯				
	床上浸水	世帯				

様式第48号 輸送記録簿

輸 送 記 録 簿

あ ま 市

輸送月日	目 的	輸送区間 (距離)	借上等			修繕					燃料費	実支出額	備 考
			使用車輛等		金額	故障車輛等		修繕月日	修繕費	故障の概要			
			種類	台数		名称・番号	所有者氏名						
					円				円		円		
計													

- 注 1 「目的」欄は、主なる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
- 2 県又は市の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
- 3 借上車輛等による場合は有償、無償を問わず記入すること。
- 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車輛等の借上費を記入すること。
- 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

様式第 4 9 号 緊急輸送車両確認届出書

		年 月 日
愛知県知事・愛知県公安委員会 殿		
緊急輸送車両確認申出書		
申出者 住 所		
氏 名		
番号標に表示されている番号		
輸送人員又は品名		
活 動 地 域		
車両の 使用者	住 所	() 局 番
	氏名又は 名称	
緊 急 連絡先	住 所	() 局 番
	氏 名	
備 考		

注 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

様式第 5 0 号 緊急輸送車両確認証明書

第 号		年 月 日
緊急輸送車両確認証明書		
愛 知 県 知 事 印 愛知県公安委員会 印		
番号標に表示されている番号		
輸送人員又は品名		
活 動 地 域		
車両の 使用者	住 所	() 局 番
	氏名又は名称	
有 効 期 限		
備 考		

備考 用紙は、日本産業規格 A 4 とする。

様式第 5 1 号 緊急通行車両確認申出書

		年 月 日
愛知県知事・愛知県公安委員会 殿		
緊急通行車両確認申出書		
申出者 住 所		
氏 名		
番号標に表示されている番号		
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあつては、輸送人員又は品名）		
活 動 地 域		
車両の 使用者	住 所	() 局 番
	氏名又は名称	
緊 急 連絡先	住 所	() 局 番
	氏 名	
備 考		

備考 用紙は、日本産業規格 A 4 とする。

様式第 5 2 号 緊急通行車両確認証明書

第 号		年 月 日
緊急通行車両確認証明書		
愛 知 県 知 事 印 愛知県公安委員会 印		
番号標に表示されている番号		
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあつては、輸送人員又は品名）		
活 動 地 域		
車両の 使用者	住 所	() 局 番
	氏名又は名称	
有 効 期 限		
備 考		

備考 用紙は、日本産業規格 A 4 とする。

様式第53号 標章

登録(車両)番号

緊急

有効期限 年 月 日

15

21

- 備考
- 1 色彩は、記号を黄色、縁及び「緊急」の文字を赤色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」及び「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
 - 2 記号の部分に、表面の画像が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
 - 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

様式第54号 部隊等の派遣要請依頼書

発 簡 番 号
年 月 日

愛 知 県 知 事 殿

あま市長

部隊等の派遣要請依頼書

災害を防除するため、下記のとおり自衛隊の災害派遣要請を依頼します。

記

1 災害の情况及び災害派遣を依頼する理由

【災害の状況を記載（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）】

2 派遣を希望する期間

年 月 日（ ） 時から救援活動終了するまでの間

3 派遣を希望する区域及び活動内容

(1) 区域

(2) 活動内容（遭難者の捜索援助、道路啓開、水防、輸送、防疫等）

・
・

4 その他参考となるべき事項

その他の細部については、 において調整する。

様式第 55 号 災害派遣部隊撤収要請依頼書

発 簡 番 号
年 月 日

愛 知 県 知 事 殿

あま市長

災害派遣部隊撤収要請依頼書

自衛隊の災害派遣を要請中のところ、派遣目的が達成されたことに伴い、 年
月 日をもって派遣部隊の撤収要請されるよう依頼します。

様式第56号 賃金職員等雇上げ台帳

賃 金 職 員 等 雇 上 げ 台 帳

あま市

[illegible]

注 1 本台帳は、救助の種別ごとに作成すること。

2 各日別就労状況は、1日就労したものは「1」と表示する。また、時間外に5時間就労したものは、「1.5」と表示すること。

様式第57号 避難・地震防災応急対策の実施状況報告 速報用

避難・地震防災応急対策の実施状況報告

速報用

送信者		受信者		送受信時間
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

緊急応急対策等	実施状況等 (該当する番号に○をつけること)		
①東海地震予知情報の伝達	1 完了	2 半数以上	3 半数未満
②地域住民の避難状況	1 必要なし	2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)	
③消防・浸水対策活動	1 必要なし	2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)	
④応急の救護を要すると認められる者の救護、保護	1 必要なし	2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)	
⑤施設・設備の整備及び点検	1 必要なし	2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)	
⑥犯罪の防止、交通の規制、その他社会秩序の維持	1 必要なし	2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)	
⑦食糧、生活必需品、医薬品等の確保	1 必要なし	2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)	
⑧緊急輸送の確保	1 必要なし	2 必要あり (ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)	
⑨地震災害警戒本部(災害対策本部)の設置	1 設置	2 準備中	3 未設置
⑩対策要員の確保	1 完了	2 半数以上	3 半数未満
備 考			

様式第58号 避難・地震防災応急対策の実施状況報告

避難・地震防災応急対策の実施状況報告

送信者		受信者		送受信時間
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

避難 状 況	①	危険事態、異常事態の発生状況		
	避難 の 経 過			
		措置事項		
	②	避難場所名	避難人数・ 要救護人数	救護、保護に必要な 措置等
	避難 の 完 了			
地 震 防 災 応 急 対 策	③	東海地震予知情報の伝達、避難勧告・指示		
	④	消防、水防その他応急措置		
	⑤	応急の救護を要すると認められる者の救護、保護		
	⑥	施設・設備の整備及び点検		
	⑦	犯罪の予防、交通の規制、その他社会秩序の維持		
	⑧	緊急輸送の確保		
	⑨	食糧・医薬品等の確保、清掃・防疫の体制整備		
	⑩	その他災害の発生防止・軽減を図るための措置		
		備 考		